

1 溝掘り ～溝の連結を確実に～

参照ページ:p28

中干しを田植後4週間までに開始するため、溝掘りは田植後3週間頃を目安に必ず実施しましょう！

《溝掘りの効果》

- 圃場への入・排水を短期間で均一に行うことができ、水管理がしやすくなります。
- 圃場全体が同じように乾き、秋の収穫作業が行いやすくなります。

溝と溝はきちんと連結しましょう。



《溝掘りのポイント》

- 溝を掘る2～3日前に落水し、土がやや硬くなった状態(土壌表面が乾く程度)にしましょう。
- 溝掘り作業直前に、ヒタヒタ水程度まで再度入水してから掘りましょう(作業後は落水してください)。
- 設置の目安は5m(15～17条)に1本程度とし、特に圃場の周囲と中央の1本はしっかり掘りましょう。
- 水がいつも溜まっているところや乾きにくいところは、溝を多く掘りましょう。
- 溝は、深く掘り下げた水尻と確実に連結してください。
- 溝が埋まった場合は再度掘り直しましょう。

2 中干し ～適正な生育量への誘導～

参照ページ:p29

適期に中干しを行うことで、以下の様々な効果が得られます。

《中干しの効果》

- ①発根の促進、稲体の健全化
- ②土壌内の有害ガスの除去
- ③過剰分げつの発生抑制
- ④適正な葉色への誘導
- ⑤収穫時の機械作業がスムーズに行える地耐力の確保

《中干し開始の時期と方法》

- 田植後4週間までに開始しましょう。
本格的な梅雨に入ると、十分に中干しができないので、遅れないようにしましょう。

中干しは一発で仕上げとせず、その後の間断かん水と併せて、幼穂形成期頃までに圃場中央部で足跡深さが3cm程度の硬さとなるようにしましょう。



適切な中干し後の状態

【圃場条件別の「中干し」の目安】

	乾きやすい圃場 (砂質田・黒ボク等)	乾きにくい圃場 (半湿田・粘質田)
方法	3日間程度で弱めに干す	5～7日間程度で強めに干す
仕上げ程度	 ・小さなヒビが入る程度	 ・足が少し沈む程度

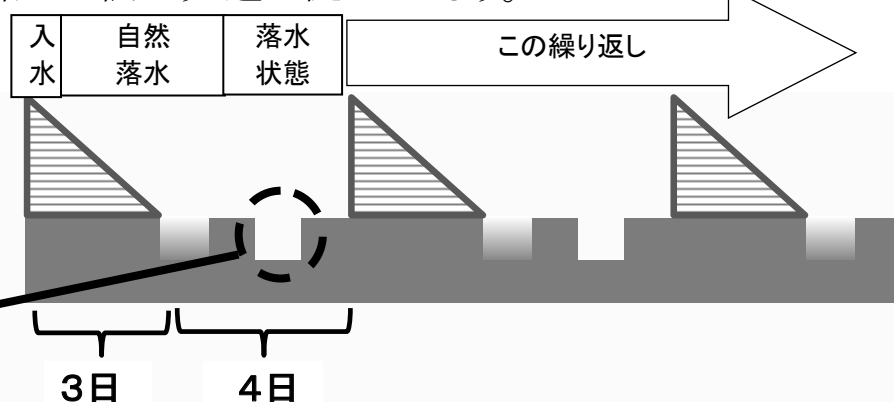
3 中干し後の水管理

参照ページ:p30

- 中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」をしましょう。
根は幼穂形成期まで急速に増えます。幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」で、土壌に酸素と水を供給して根の発達を促しましょう。



足跡の水がなくなったら入水



【間断かん水の方法】

乾きやすい圃場：入水→自然落水→2～3日落水
 乾きにくい圃場：入水→自然落水→4～5日落水

【You Tube】
JA アルプス農業情報ボックス

9 溝掘り・中干し



10 中干し後の水管理



4 移植水稻の中・後期除草剤 ～使用基準を厳守しましょう～

参照ページ:p27

○雑草の種類や発生状況を確認し、遅れず適期に散布しましょう。

○散布する前に水の入替えを行いましょ。

散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しないでください。

※バサグラン粒剤、ロイヤント乳剤、トドメバスMF液剤は落水またはごく浅く湛水して散布する。

除草剤名	対象雑草	10a当たり 使用量	使用時期	使用 回数	使用上の注意点
ワイドショット 1キロ粒剤	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ 他	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1回	・イネ4葉期以前の使用は避ける。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
テッケン 1キロ粒剤	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1回	・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
テッケン ジャンボ	一年生雑草および 多年生広葉雑草	小包装 (50g) × 10個 (500g)	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1回	・藻が多発している圃場では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるため、使用を避ける。 ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で使用する。
バサグラン粒剤 ※	マツバイ、ホタルイ、 オモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ 他	3～4kg	移植後15～50日 (収穫60日前まで)	1回	・ノビエに効果無し ・晴天の持続する時(2日以上)を選んで散布する。 ・落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後3～4日間は入水・落水しない。
クリンチャー 1キロ粒剤	ノビエ	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)	2回以内	・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
		1.5kg	移植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)		
クリンチャー ジャンボ		小包装 (50g) × 20個(1kg)	移植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫30日前まで)		
		小包装 (50g) × 30個(1.5kg)	移植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)		
トドメMF 1キロ粒剤		1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	3回以内	・ノビエ専用剤。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
ロイヤント乳剤 ※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	200mℓ 希釈水量 25～100ℓ	移植後20日～ ノビエ5葉期まで (収穫45日前まで)	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・クサネムは約70cmまで早めに散布する。 ・ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラに効果劣る。
トドメバスMF 液剤※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1,000mℓ 希釈水量 70～100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・展着剤は加用しない。

5 中間追肥

○6月下旬に、ケイ酸質資材を施用しましょう。

○施用後2～3日は水を溜めたままにしてください。

《効果》

- ・根の活力を高め下葉の枯れ上がりを防ぎます。
- ・茎を硬く、倒伏や病気に強い稲体にします。

肥料名	施用量
エスアイ加里らくだ	15kg/10a
けい酸加里	20kg/10a